

受験生向け案内要項 機械科（50点）

①口頭試問

ア. 実施内容	機械に関する内容を4～5問、テーマは「自身が考える機械について」 ※受験生の回答に対して、新たな質問を追加する場合があります
イ. 実施方法	個人面接
ウ. 面接委員の構成	1組2名
エ. 所要時間	1人15分程度
オ. 評価の観点	回答内容（自身の考えや意見を持っているか等） / 態度・言葉遣い / 服装・容儀 等

②面接（口頭試問後、そのまま面接を実施する）

ア. 面接方法	個人面接
イ. 面接委員の構成	1組2名
ウ. 所要時間	1人15分程度
エ. 面接内容	志望理由/将来の進路希望/高校生活の抱負/中学校での活動状況 その他
オ. 評価の観点	応答内容/態度・言葉遣い/服装・容儀 等

Q1：口頭試問はどのような内容でしょうか？

A1：機械に関するあなたの考えや身の周りにある機械について、そしてこれからの機械についてあなたの考えをいくつか質問していく内容となります。また回答した内容についてさらに質問する場合があります。

Q2：自分で製作した製作物を面接時に持ち込んでも宜しいでしょうか？

A2：持ち込み可能な大きさなら宜しいですが、大型の製作物などは写真やレポートとして持ち込むようにして下さい。

Q3：PCなどを使用したプレゼンテーションをしたいのですが可能でしょうか？

A3：可能ではありますが、5分以内での発表になります。HDMIやプロジェクターは本校で準備可能ですがPCなどの再生機器は各自持参して下さい。またPCトラブルに関して本校では対応し兼ねます。

自動車科の特色選抜の独自検査について

[口頭試問]

- ア. 実施内容 口頭試問（自動車、整備に関する内容を 4～5 問）
 ※受検生の回答に対して、新たな質問を追加する場合があります
- イ. 実施方法 個人面接
- ウ. 面接委員の構成 1 組 2 名
- エ. 所要時間 1 人 15 分程度
- オ. 評価の観点 回答内容（自身の考えや意見を持っているか等）
 態度・言葉遣い/服装・容儀 等

[面接]

- ア. 面接方法 個人面接（口頭試問後、そのまま面接を実施する）
- イ. 面接委員の構成 1 組 2 名
- ウ. 所要時間 1 人 15 分程度
- エ. 面接内容 志望理由/将来の進路希望/高校生活の抱負/中学校での活動状況
 その他
- オ. 評価の観点 応答内容/態度・言葉遣い/服装・容儀 等

質問と回答

Q1：口頭試問はどのような内容でしょうか？

A1：自動車、整備に関して一般的な質問をします。また、自動車に対するあなたの考えについても質問します。

Q2：口頭試問・面接時に持参するものはありますか？

A2：特に持参すべきものではありません。

グラフィックアーツ科の特色選抜に関する質問と回答

グラフィックアーツ科の特色選抜において、以下のように「独自検査」をする旨を記載しています。この内容について、質問と回答の形式で詳しく説明します。

————グラフィックアーツ科の「選抜項目・検査方法・配点」より————

3. 独自検査

ア、デッサン 10 点：実技検査は鉛筆デッサンとし、A 4 用紙 1 枚に指定したモチーフを描く（プレゼン時に持参し提出）

イ、作文 10 点：「希望する将来に近づくためには」という内容で、400 文字とする（40 分）

ウ、プレゼンテーション 20 点：これまで制作した作品及び課題のデッサンについて発表し、簡単な質問に答える（10 分）

Q1:デッサンは当日会場で描くのですか？

A1：デッサンは事前に描いたものを、試験当日に 1 作品のみ持ってきてください。モチーフ（描くもの）は何でも構いません。配点が（10 点満点）となります。

Q2:デッサンはどんな紙に描いたらよいですか？

A2：特に指定はありません。デッサンをしやすい用紙を自分で準備してください。

Q3:作文は何作品準備するのですか？

A3：作文は、特色選抜の当日に 1 つ書いてもらいます。配点が（10 点満点）となります。「希望する将来に近づくためには」という内容で 400 文字程度の作文が書けるよう、練習してきてください。

Q4:プレゼンテーションでは「これまで制作した作品及び課題のデッサンについて発表し」、とありますが、「これまで制作した作品」は、どんな作品を持ってきたらよいですか？また作品はいくつ必要なのですか？

A4：作品の点数は 1 点のみで構いません。（多くても 3 点まで）「20 点」とあるのは配点が（20 点満点）の意味です。作品は平面の作品であれば実物あるいはコピーを持参してください。立体作品などは写真に撮って印刷したものを持参してください。その他映像作品などの場合は、ノートパソコンやタブレット端末などで見られる状態にして持ち込みが可能です。しかしパソコンのトラブルにはこちらは対応しませんので、自分で操作できる場合のみ、とします。

Q5:プレゼンテーションではパワーポイントを作成してきた方がよいですか？

A5：グラフィックアーツ科の特別選抜における「プレゼンテーション」は、作品を見せながら受検生が口頭で、紙芝居のように説明するプレゼンテーションを想定しています。しかし受検生がパワーポイントを作成したい場合は、作成・使用しても構いません。その場合プレゼン用のノート PC あるいは端末は当日持参して下さい。モニターと HDMI ケーブルは本校にあるものを使うことができます。持ち込みする物品について質問がある場合は本校グラフィックアーツ科宛に電話などで質問して下さい。